

【仮訳】

＊ あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2022 年 2 月 15 日

スリランカ購買担当者景気指数 (PMI) - 2022 年 1 月

1 月 PMI は製造業・サービス業ともに上昇

2022 年 1 月の製造業 PMI は、前月比 0.6% 上昇の 58.7 を記録。主に新規受注、生産、雇用の回復による。また、前月比で購買在庫が増加し、サプライヤー納期が延期。

新規受注、生産および購買在庫では、特に繊維・アパレル製造業や食品・飲料製造業の拡大が PMI 上昇に寄与。雇用はプラスに転じたものの、繊維・アパレル製造業での雇用は引き続き減少しており、同セクターでの人材確保が困難な状況を示す。一方、新規受注と生産の拡大に伴い、購買在庫も増加。

指標	12 月	1 月	+/-	概要
PMI	58.1	58.7	+	大幅に上昇
PMI サブ指標				
新規受注	65.5	62.2	-	緩やかに上昇
生産	58.0	59.8	+	大幅に上昇
雇用	48.0	55.2	+	下落から上昇
購買在庫	52.0	55.7	+	大幅に上昇
サプライヤー納期	61.1	56.6	-	緩やかに延期

サプライヤー納期は、前月比で大幅に延期。税関書類や信用状開設に関する障害、港湾の混雑などから輸入貨物引取りの遅延を強調する回答が多かった。

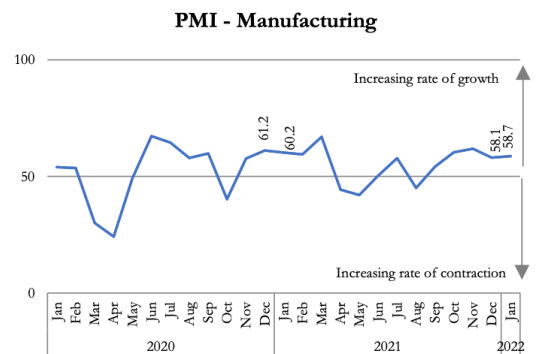
今後 3 か月間の製造業事業活動への期待は、国内および世界経済の回復が継続すると見込まれ、高水準で推移。

Manufacturing
PMI

Index Value

58.7

Increase of
0.6 index points
compared to
December 2021



Source: Central Bank of Sri Lanka

世界概況：製造業 PMI

2022 年 1 月のグローバルでの製造業 PMI は、前月比 1.0 ポイント低下のと横ばいの 53.2 を記録。

製造業 PMI は、ユーロ圏とロシアが前月比で大きく改善。また、米国、英国、インド、シンガポールは緩やかに改善。しかし、中国は前月比で下落。

出展：Markit1 (2022 年 2 月 14 日)

【仮訳】

＊ あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

2022 年 1 月のサービス業 PMI は 57.5 を記録し、サービス部門の継続的な拡大を示した。新規ビジネス、ビジネス活動、雇用、事業活動への期待の各指標で上昇。

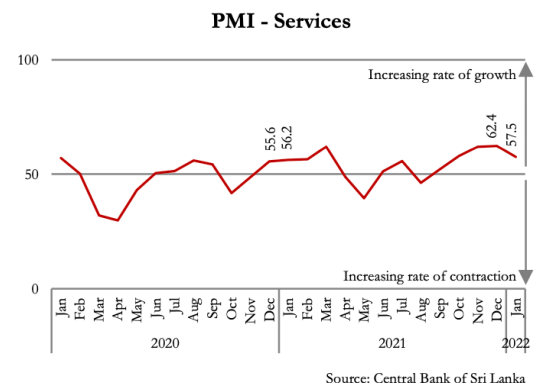
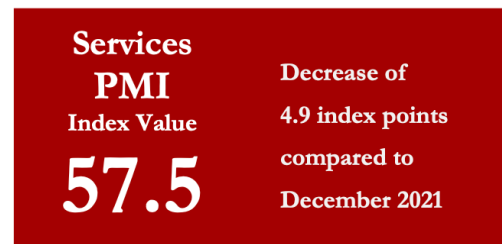
2022 年 1 月には新規ビジネスが前月比でさらに増加し、特に運輸業、専門サービス業、その他の個人的活動事業、教育業のサブセクターで改善が見られた。

コロナ対策の規制緩和が続くなか、ビジネス活動は前月比で拡大を示した。運輸業および専門サービス業は大幅に改善。また、宿泊飲食業は、観光客増加に支えられ大きな拡大を記録。一方、金融サービス業、その他の個人的活動事業、教育業関連も増加。

雇用は、ビジネス活動拡大を支えるために採用が継続し、3 か月連続で上昇。一方、多くの従業員が通常出勤し、業務滞留は緩やかに減少。

指標	12 月	1 月	+/-	概要
PMI	62.4	57.5	-	緩やかに上昇
PMI サブ指標				
新規ビジネス	67.8	57.5	-	緩やかに上昇
ビジネス活動	72.8	62.0	-	緩やかに上昇
雇用	53.0	52.0	-	緩やかに上昇
業務滞留	45.7	47.4	+	緩やかに下落
事業活動への期待	72.8	68.5	-	緩やかに上昇

オミクロン株によりコロナウィルス感染者数が再び増加したものの、コロナ対策に関連する規制の緩和が続き、ビジネス活動の拡大に楽観的な見方は広がり、今後 3 か月間の事業活動への期待はさらに上昇。しかし、輸入規制やインフレ圧力がビジネス活動に与えるマイナスの影響に言及する回答も見られた。



世界概況：サービス業 PMI

2022 年 1 月の世界のサービス業 PMI は、前月の 54.7 に比して 51.3 を記録し、世界でのサービス活動の緩やかな拡大を示す。

2022 年 1 月のサービス業 PMI は、米国、中国、インド、英国で前月比で上昇し、日本は下落。

出展：Markit1 (2022 年 2 月 14 日)